

新たなステージへ

近藤 朗

あなたはどのような学校をつくらうとしているのですか。私は、ピアノの音が響き、歌声の溢れる学校が好きです。そして、思いやりに溢れ、みんなが挑戦する学校にしたいです。自問自答するところなるでしょうか。

これまで、私は、子どもたちに「一歩前へ」と「聴く」を呼び掛けてきました。この二つが相まって年々目指す学校像に近づき、そして今年度、ミュージカルの舞台にその姿が結実しました。発達段階に応じ、子どもたちは見事にまちからステキを学び、楽しんでくれたことを嬉しく思います。

年度末です。保護者の皆様からは、是非、子どもが努力したことを、苦労したことを、くじけそうになったときに心を強くして乗り越えたことを、子どもとともに振り返り、共有していただきたいと思えます。これが、一つ学年の上がる新たなステージへの挑戦意欲の醸成につながりますのでよろしくお願いたします。

新潟小学校を卒業し、中学校への入学という大きな転機を迎える六年生。卒業の時だからこそ、一つ前の節目であった小学校に入学した頃のことを思い返してみてください。ランドセルが大きく見えていたあの頃。一人でできることも少なく、多くのことを親に頼っていたあの頃を。

君たちはこの六年間で大きく成長しました。誰もが認めることです。これから先、身体が成長し、視野も行動範囲も広がることでしょう。しかし、成長の根っこにあるものは小学校時代に培った心です。

自分を律する心、友達を思いやる心、困っている人を助けようとする心、素敵なことを素敵と感じる心、感動する心、一歩前へ成長させようとする心。

たんぼぼが毎年花を咲かせ、綿毛を飛ばすことができるのは、土の奥深く深くまで伸ばした根っこがあるからです。たんぼぼが学校を卒業し、綿毛のごとく飛び立つ六年生。しっかりと根を張り、自分の人生を一歩前へ！

全校をリードしてくれた、在校生の憧れの的だった皆さんに贈る詞はこれしかありません。ありがとう。

大好きな町 古町

すばらしい店 人の優しさがあふれてる
そんな古町に

ずっとみんなが集うように

永遠の時を刻んで

一人一人考えて みんな集まり考えて
古町の未来を考えて

もっと活気あふれるように

古町から学んで 古町を楽しんで

笑顔あふれる町になるように

みんなが未来を創り出そう